

2020年6月1日
株式会社 七十七銀行

「金融商品の販売にかかる成果指標（KPI）」の公表について

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）では、お客さまに対するより良い金融商品・サービスの提供を促進する観点から、「<七十七>お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を制定しておりますが、このたび、2020年3月19日付で公表した「2020年度『顧客本位の業務運営に係わる実践計画』」に基づき、「金融商品の販売にかかる成果指標（KPI）」の公表を行いますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 「金融商品の販売にかかる成果指標（KPI）」の内容

別紙「顧客本位の業務運営にかかる取組状況」のとおり

注. 当行ホームページのほか、年度毎に作成する「統合報告書」においても公表いたします。

2. 実施日

2020年6月1日（月）

以 上

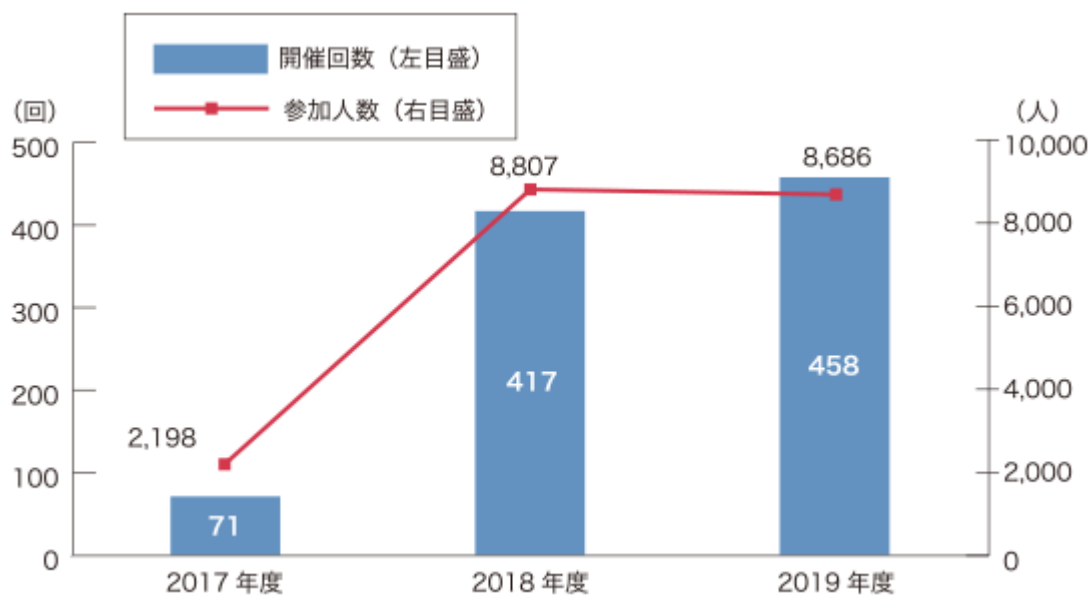
(別 紙)

顧客本位の業務運営にかかる取組状況

お客さまに分かりやすい情報提供

- ・当行では、お客さまに対し資産運用にかかる分かりやすい情報を提供する目的から、定期的にお客さま向けのセミナーを開催しております。
- ・今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念されている状況から、開催回数は限定的になることも想定されますが、今後も、継続的に、お客さまへ有用な情報提供に努めてまいります。

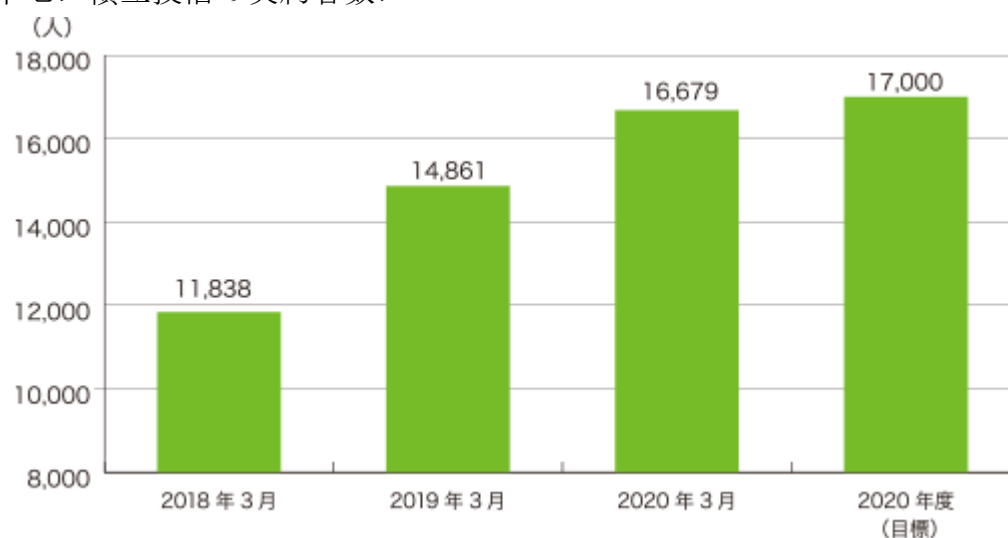
<お客さま向けセミナー開催回数・参加者数>



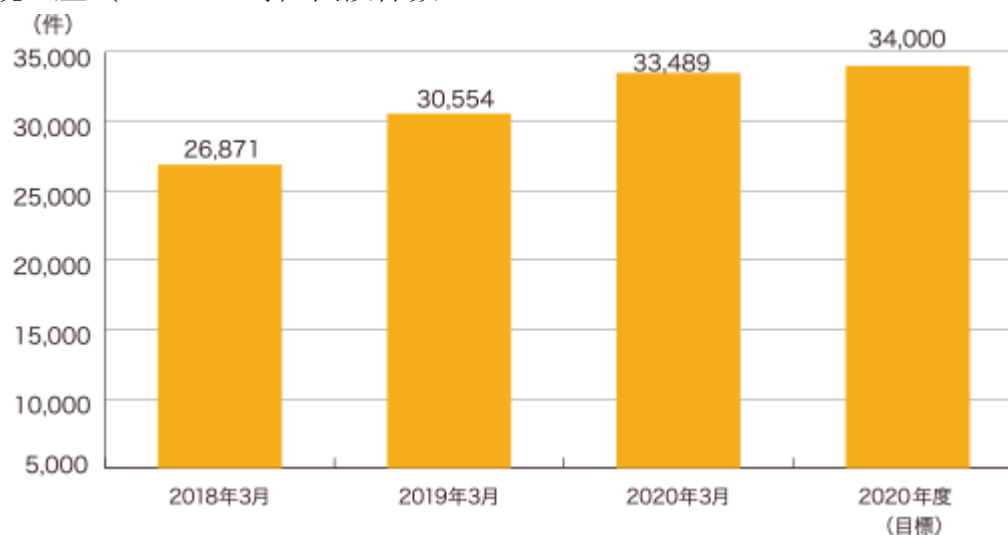
お客さまにふさわしいサービスの提供

- お客さまの資産状況、取引経験、知識および取引目的・ニーズに応じ、お客さまにふさわしい金融商品・サービスの組成、選定および販売・推奨等を行います。
- 特に、お客さまの資産形成に有効な＜七十七＞積立投信やN I S A等の非課税口座の提案を積極的に行ってまいります。

<<七十七>積立投信の契約者数>



<非課税口座 (N I S A等) 開設件数>



お客さまにふさわしいサービスの提供

- ・当行では、お客さまの資産形成に有効なバランス型ファンド（アロケーションファンド等）の提案を積極的に行っております。

< 投信販売額上位10銘柄（2019年度） >

（単位：百万円、%）

商品名（投信会社名）	商品種類	販売額	割合
日経225ノーロードオープン （アセットマネジメントOne）	国内株式型	5,518	21.7
インデックスファンド225 （三菱UFJ国際投信）	国内株式型	3,688	14.5
ゴールドマン・サックス社債／国際分散投資戦略 ファンド（アセットマネジメントOne）	バランス型	3,321	13.0
グローバル3倍3分法ファンド（1年決算型） （日興アセットマネジメント）	バランス型	2,259	8.9
東京海上・円資産バランスファンド（年1回決算型） （東京海上アセットマネジメント）	バランス型	1,260	4.9
トヨタ自動車／トヨタグループ株式ファンド （三井住友DSアセットマネジメント）	国内株式型	744	2.9
三菱UFJ Jリートオープン（3ヵ月決算型） （三菱UFJ国際投信）	国内REIT型	677	2.7
東京海上・円資産バランスファンド（毎月決算型） （東京海上アセットマネジメント）	バランス型	620	2.4
投資のソムリエ （アセットマネジメントOne）	バランス型	613	2.4
グローバル3倍3分法ファンド（隔月分配型） （日興アセットマネジメント）	バランス型	581	2.3
上位10銘柄小計		19,281	75.7
上記以外の商品小計		6,184	24.3
販売額合計		25,465	100.0

注. ゴシック体はバランス型ファンド

お客さまにふさわしいサービスの提供

- ・お客さまの多様なニーズに対応する目的から、投資信託 69 商品、生命保険商品 32 商品を取り揃えております。
- ・また、より複利効果が得られるという観点で、毎月分配型の投資信託の提案は慎重に行っております。

<投資信託・保険のラインナップ数>

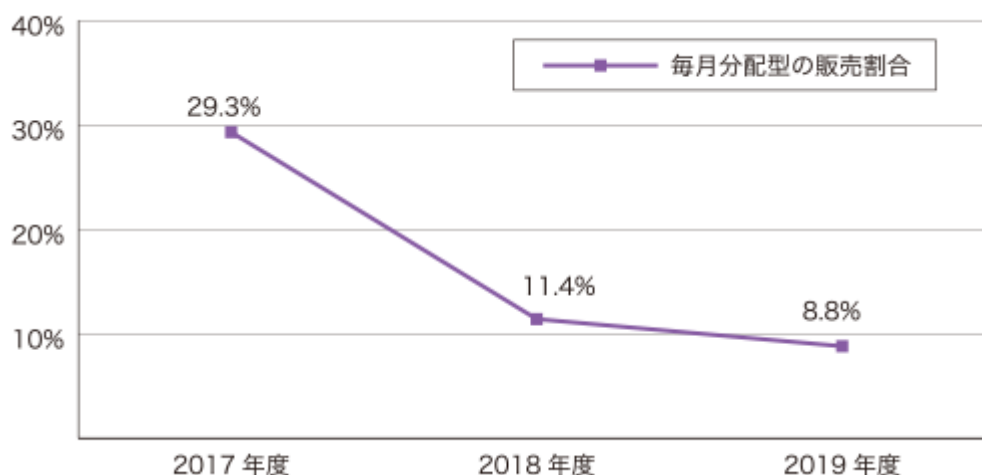
投資信託	取扱商品数	比率
国内債券	1	1.4%
国内株式	11	16.0%
国内REIT	1	1.4%
海外債券	15	21.7%
円ヘッジ外債	3	4.3%
グローバル	7	10.1%
新興国	3	4.3%
ハイイールド	2	2.9%
海外株式	6	8.7%
グローバル	5	7.2%
新興国	1	1.4%
海外REIT	6	8.7%
バランス型	25	36.3%
その他	4	5.8%
総合計	69	100.0%

注. 職場積立NISA専用商品、つみたてNISA専用商品は除く。

生命保険		取扱商品数	比率
一時払	円建	5	15.6%
	変額個人年金	0	0.0%
	定額個人年金	2	6.2%
	終身	3	9.4%
	外貨建	15	46.9%
	年金	6	18.8%
	終身	9	28.1%
合計	20	62.5%	
平準払	終身	3	9.4%
	定期	0	0.0%
	医療・がん	6	18.7%
	学資	0	0.0%
	収入保障	3	9.4%
合計	12	37.5%	
総合計	32	100.0%	

注. ほけん専用窓口のみで取扱う商品は除く。

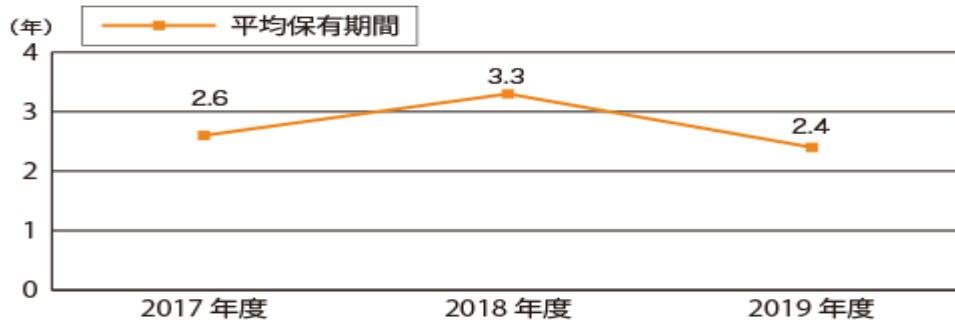
<投信販売に占める毎月分配型の販売額とそれ以外の比較>



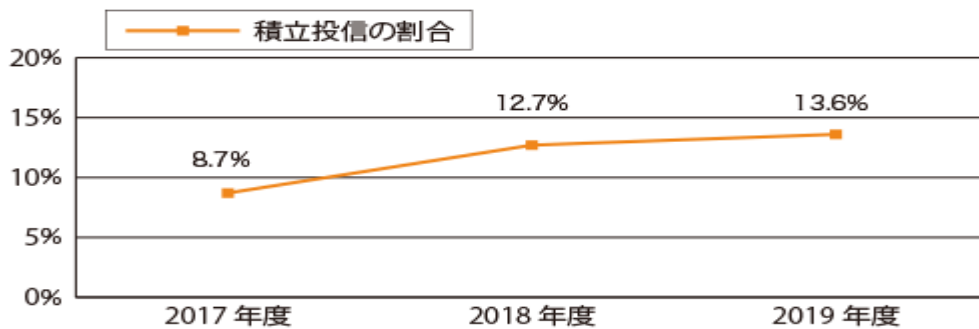
お客さまにふさわしいサービスの提供

- お客さまのライフイベントに応じた長期、積立、分散投資による安定的な資産形成のご支援として、〈七十七〉積立投信や資産形成に適した商品の提案を積極的に行っております。

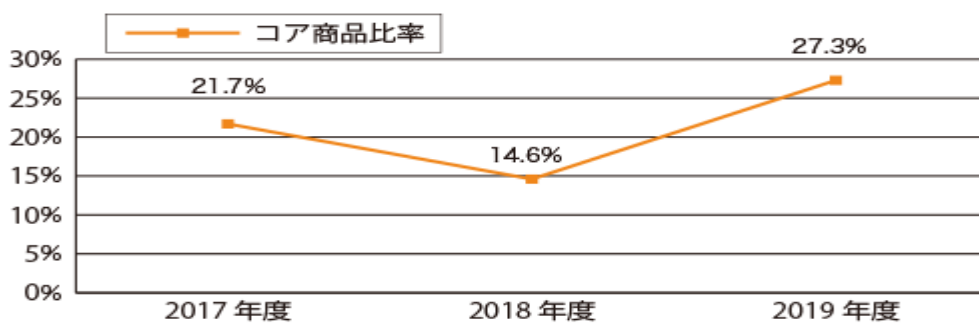
<投資信託における平均保有期間>



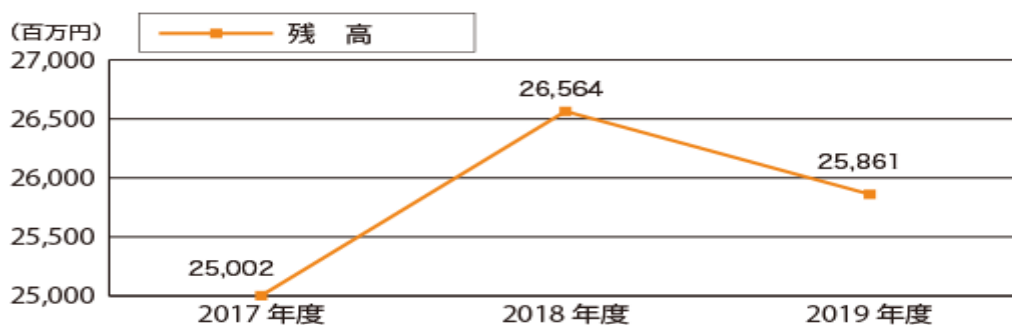
<投資信託の販売に占める積立投信の割合>



<コア商品比率（投資信託販売に占めるバランス型ファンドの割合）>



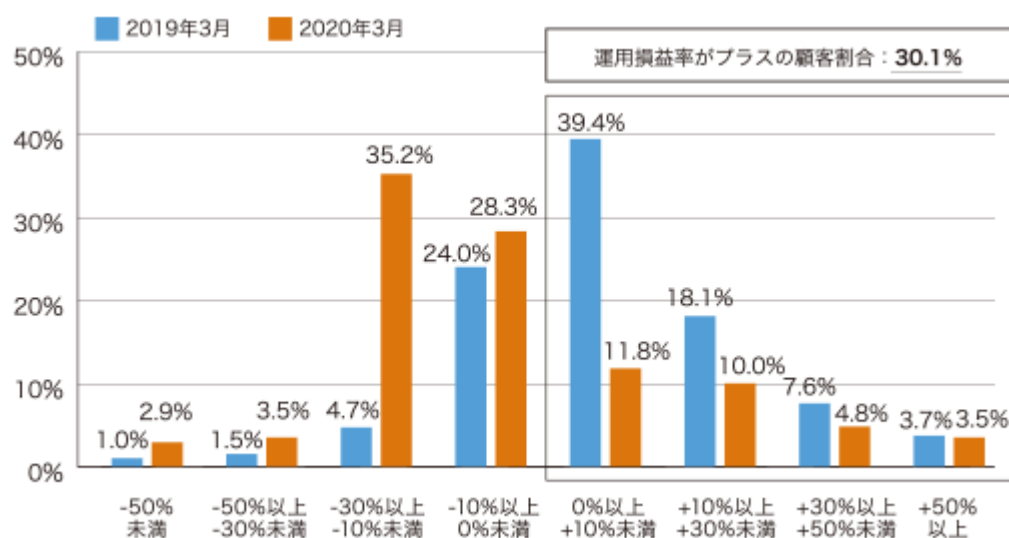
<資産形成に資する投資信託商品の残高（つみたてNISA等）>



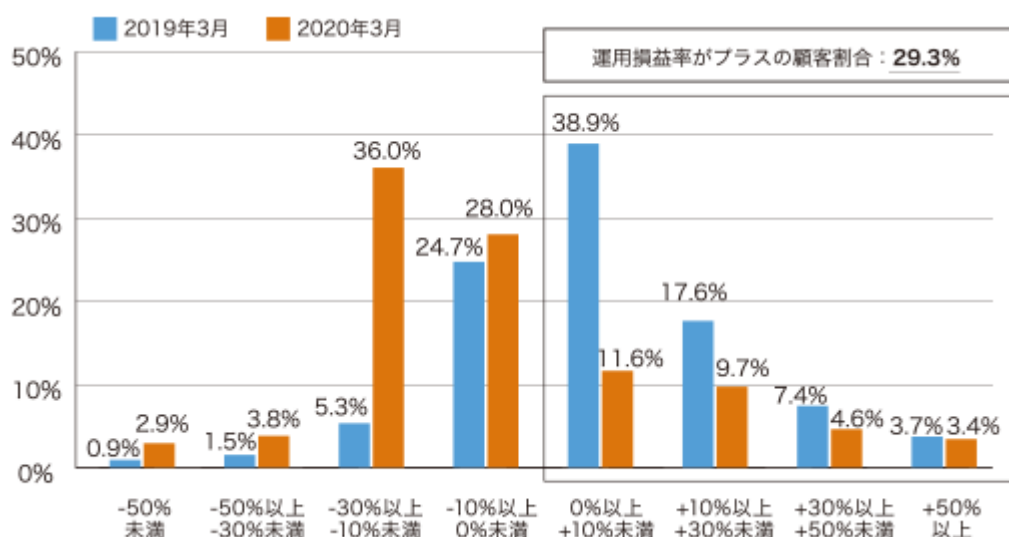
お客さまにふさわしいサービスの提供

- ・2020年3月末時点で投資信託を保有しているお客さまの運用損益別顧客比率は、約3割のお客さまが運用益を得ています。
- ・また、本取組の本取組方針の対象となるグループ会社の七十七証券株式会社を含めたお客さまの運用損益別顧客比率も参考として開示いたします。今後も、当行と七十七証券株式会社の連携（銀証連携）を通じて、お客さまの多様化する資産形成・運用ニーズを捉えた金融商品・サービスをご提供いたします。

<投資信託の運用損益別顧客比率（当行）>（共通KPI）



<投資信託の運用損益別顧客比率（当行＋七十七証券株式会社）>

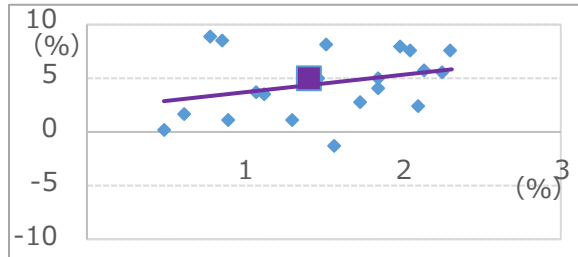


お客さまにふさわしいサービスの提供

・投資信託の預り残高上位 20 銘柄について、コストとリターン、リスクとリターンを開示いたします。今後もお客さまに対しては、市場環境の変化等を踏まえつつ、適切な提案およびアフターフォローを行ってまいります。

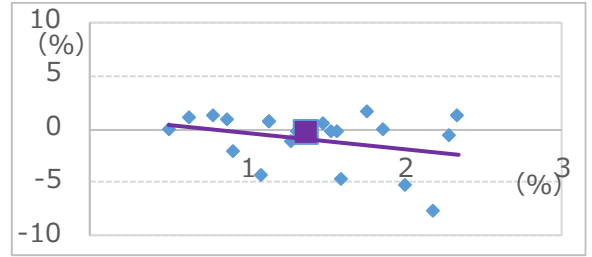
<投資信託残高上位 20 銘柄のコスト・リターン> (共通KPI)

(2019年3月)



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.42%	4.79%

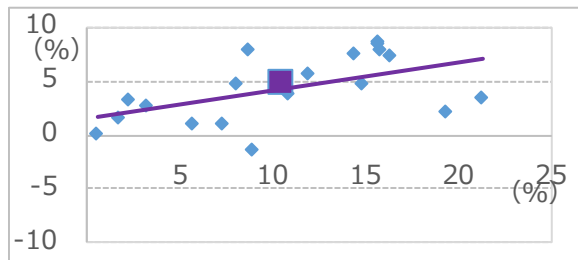
(2020年3月)



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.38%	▲0.54%

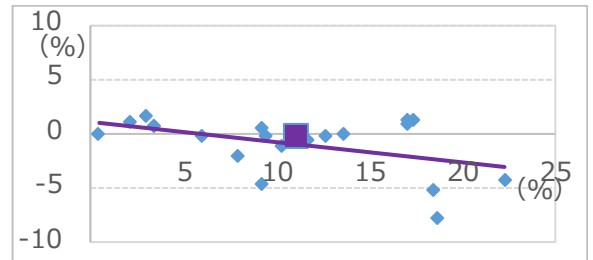
<投資信託残高上位 20 銘柄のリスク・リターン> (共通KPI)

(2019年3月)



残高加重平均値	リスク	リターン
	10.55%	4.79%

(2020年3月)



残高加重平均値	リスク	リターン
	11.16%	▲0.54%

(参 考) 投資信託残高上位 20 銘柄

(単位：%)

銘柄名	コスト	リスク	リターン
インデックスファンド 2 2 5	0.79	17.1	1.15
財産3分法ファンド(不動産・債券・株式) 毎月分配型	1.49	9.21	0.54
東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型)	1.14	3.44	0.62
ピクテグローバルインカム株式ファンド(毎月分配型)	1.87	13.62	0
フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	2.29	11.74	▲0.71
三菱UFJ外国債券オープン(毎月分配型)	1.32	5.99	▲0.28
三菱UFJ豪ドル債券インカムオープン	1.6	9.26	▲4.77
トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	1.09	22.31	▲4.4
ゴールドマン・サックス米国REITファンドBコース	2.01	18.48	▲5.25
日経225ノーロードオープン	0.88	17.1	0.89
日本公共債ファンド2020	0.5	0.4	▲0.12
野村円債投資インデックスファンド	0.63	2.07	0.96
東京海上・円資産バランスファンド(年1回決算型)	1.14	3.44	0.62
投資のソムリエ	1.76	3.02	1.52
フィデリティ・日本成長株・ファンド	2.34	17.39	1.21
三菱UFJJリートオープン(3か月決算型)	1.54	12.64	▲0.26
トレンド・アロケーション・オープン	0.91	7.9	▲2.22
GSグローバルREITポートフォリオ(毎月分配型)	2.18	18.67	▲7.82
マイストーリー分配型(年6回)Bコース	1.28	10.26	▲1.15
のむラップ・ファンド(普通型)	1.57	9.46	▲0.22

注. 2020年3月末時点で設定後5年以上の投資信託が対象

○コスト：当行の投資信託申込手数料率上限の1/5と信託報酬率の合計値

○リターン：過去5年間のトータルリターン(年率換算)

○リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)

行内の体制強化および啓蒙

- ・お客さまのニーズ・利益に即した行動を評価する営業店の業績評価体系を構築するとともに、行員・社員等の評価に対して適切な反映を行います。
- ・当行では、資産運用提案を適切に行う観点から、FP1級・CFP等の資格取得を奨励しております。

<FP1級・CFP・FP2級・AFP資格の取得者数>

2020年3月末時点	2,193名
------------	--------

以上